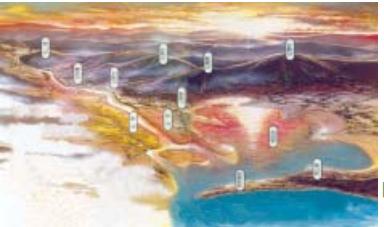


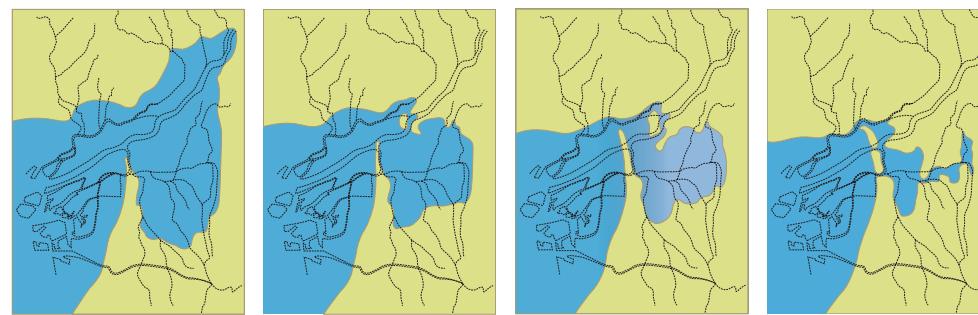
水の都のルーツをたどる



河内湖のイメージ

河川前史

淀川と大和川が運ぶ土砂によって大阪平野が形成



■ 河内湾Ⅰの時代	■ 河内湾Ⅱの時代	■ 河内潟の時代	■ 河内湖Ⅱの時代
約7000～6000年前	約5000～4000年前	約3000～2000年前	5世紀頃



古代の大坂

難波宮～国際都市大阪の成



■後期難波宮中心部の復元予想図

古代の難波(なにわ)は、淀川と大和川の二大河川が合流する難波津を中心に発展したと考えられています。古墳時代に中国大陸や朝鮮半島との関係が深まり、難波津は、古代日本の玄関口として、大陸からの渡来地、さらには使節往来の拠点として発展しました。

そのような背景から、大化元年(645)の大化改新のはじまりとともに新しく即位した孝徳天皇は同年12月、難波に遷都します。

川の歴史は、大阪の歴史



■ 堂島米市の図
浪花名所図会
歌川広重(初代)画
(大阪府立中之島図書館所蔵)



■ 雜喉場（ざこば）
浪速百景 歌川芳瀧画
(大阪府立中之島図書館所蔵)

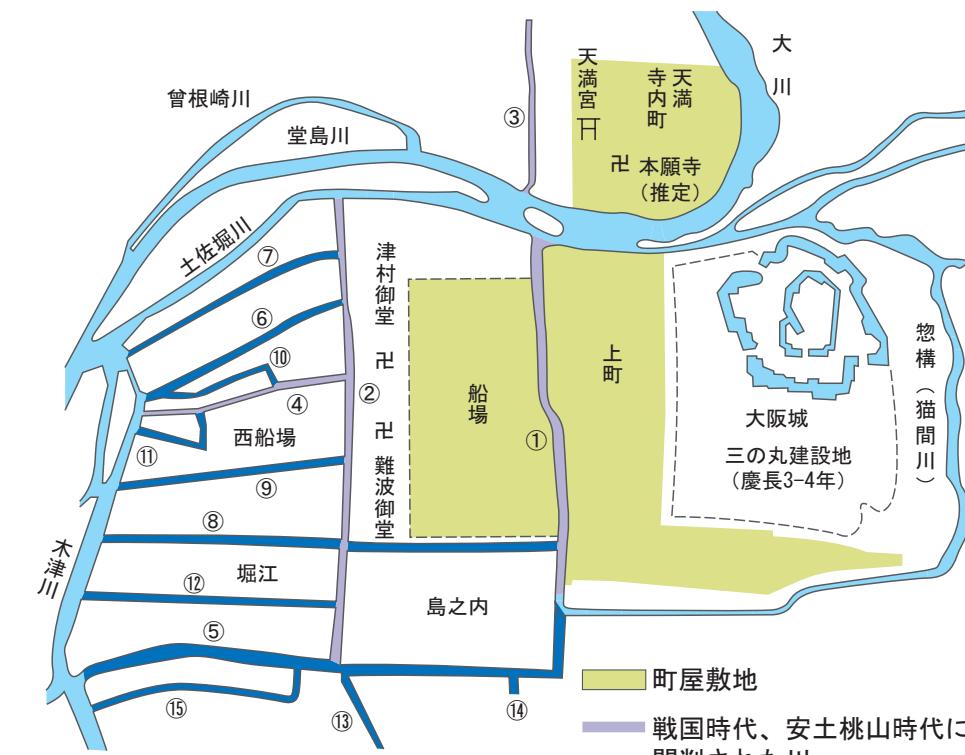


■天満市場
浪速百景 歌川国員画
(大阪府立中之島図書館所蔵)

近世の川

天下の台所と呼ばれる大阪の経済は、川を中心に発展

大阪の都市基盤は豊臣、江戸時代から形成されてきました。大阪夏の陣で市中は一時荒廃しますが、江戸時代には土地造成や水運を目的として、堀川が開削されました。そして、大阪の経済は交通の要である川を中心に発展し、天下の台所と呼ばれるほど、全国の物資が大阪に運び込まれました。



主な市内河川の開削時期	
●河川名	●年　度
①東横堀川	天正13年(1585)
②西横堀川	同上ころ(1585)
③天満堀川	慶長3年(1598)
④阿波堀川	慶長5年(1600)
⑤道頓堀川	元和元年(1615)
⑥京町堀川	元和3年(1617)
⑦江戸堀川	元和3年(1617)
⑧長堀川	元和5年(1619)
⑨立壳堀川	元和6年(1620)
⑩海部堀川	寛永元年(1624)
⑪薩摩堀川	寛永5年(1628)
⑫堀江川	元禄11年(1698)
⑬難波新川	享保18年(1733)
⑭高津入堀川	享保19年(1734)
⑮桜川	不　明



■浪花大畫一覽 歌川貞秀画 (大阪府立中之島図書館所蔵)